

2009 - 2010年度
(2009年7月1日～2010年6月30日)

ACM日本支部活動報告(案)

2009 - 2010年度(2009年7月1日～2010年6月30日) 活動報告

1. ACM国際大学対抗プログラミングコンテストアジア地区予選東京大会開催

(ACM International Collegiate Programming Contest, Asia Regional Contest, Tokyo - ACM/ICPC)

(1) 国内予選報告

実施日時: 2009年7月3日(金) 16:30～19:30

参加資格: 1チームは選手3名(学生)とコーチ(教員あるいは大学院生)1名.

選手学生の資格は、大学・大学院・高等専門学校(4・5年生)・短期大学に在籍していること、ACM/ICPC地区大会出場が5回未満であり、世界大会出場が2回未満であること、1986年以降に生まれたか、2005年以降大学・短期大学に初めて入学したこと(なお、高等専門学校およびその卒業生は4年次進級時を大学入学とみなす)。

実施方法: インターネットを利用し、各所属校より参加。

使用言語: C++, C, Java

問題: 全6問。設問は英語が主であるが、日本語も併記。

参加校(括弧内は複数チームの場合の参加チーム数): 計70校276チーム

会津大学(10), 秋田工業高等専門学校(1), 秋田大学(1), 有明工業高等専門学校(1), 一関工業高等専門学校(1), 岩手県立大学(1), 宇部工業高等専門学校(1), 愛媛大学(2), 大分大学(1), 大阪大学(2), 大阪工業大学(3), 大阪電気通信大学(5), 大阪府立工業高等専門学校(1), 大阪府立大学(3), 岡山理科大学(1), 沖縄工業高等専門学校(1), 香川大学(3), 神奈川工科大学(7), 金沢工業大学(3), 関西学院大学(4), 九州大学(5), 九州工業大学(1), 京都大学(7), 京都工芸繊維大学(5), 京都産業大学(11), 久留米工業高等専門学校(4), 慶應義塾大学(5), 神戸市立工業高等専門学校(3), 公立はこだて未来大学(2), 埼玉大学(6), 静岡理工科大学(5), 湘南工科大学(5), 信州大学(3), 鈴鹿工業高等専門学校(2), 専修大学(7), 崇城大学(1), 千葉大学(4), 中央大学(8), 中部大学(5), 筑波大学(3), 津田塾大学(4), 津山工業高等専門学校(1), 電気通信大学(5), 東京大学(13), 東京外国語大学(1), 東京工科大学(8), 東京工業大学(6), 東京情報大学(1), 東京都立工業高等専門学校(3), 同志社大学(1), 東北大学(4), 東北学院大学(3), 獨協大学(2), 豊橋技術科学大学(7), 長崎大学(1), 奈良女子大学(2), 新潟国際情報大学(7), 日本大学(5), 広島大学(4), 福井大学(1), 福島大学(5), 北海道大学(6), 三重大学(5), 明治大学(3), 八代工業高等専門学校(2), 山梨大学(4), 立命館大学(16), 龍谷大学(3), 和歌山大学(4), 早稲田大学(5)

結果: 予選通過については、同一校からの参加枠制限(東京大会ルール)のために、枠外のチームは成績が上位でも予選落ちとなる。また、当初選抜された三重大学が辞退したため、山梨大学を繰り上げとし、海外登録の中国1チームも辞退したため東京大学1チーム(wakaba::a->[Bug])を追加とした。予選上位2チームを他のアジア地区予選に派遣することとし、予選1位の東京大学HITORI#は10月30日-11月1日開催の新竹大会(台湾)で優勝した。予選3位の会津大学Watch.dは11月3-4日開催のプーケット大会(タイ)に参加した。

(2) ACM/ICPC 東京大会概要

開催日: 2009年11月7日(土)～9日(月)

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

早稲田大学西早稲田キャンパス(東京都新宿区大久保3-4-1)

主催: ACM/ICPC 会津大会実行委員会, 会津大学, ACM 日本支部

後援： 文部科学省，総務省，経済産業省，(独)科学技術振興機構，(独)理化学研究所，(社)情報サービス産業協会

協賛： (社)情報処理学会，日本ソフトウェア科学会，(財)情報科学国際交流財団

日本アイ・ビー・エム(株)，楽天(株)，グーグル(株)，グリー(株)，(株)ザッパラス，(株)CSKホールディングス，(株)シンプレクス・テクノロジー，(株)ディー・エヌ・エー，日本電信電話(株)，(株)ミクシィ，(株)リンクレア，(株)NTTデータ，KLab(株)，(株)構造計画研究所，(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所，日本電気(株)，(株)野村総合研究所，(株)ビーエスピー，(株)ビーコンインフォメーションテクノロジー，富士通(株)，(株)モルフォ

委員関係：

実行委員長： 笈捷彦(早稲田大学)

副委員長： C. J. Hwang(Texas State University, アジア地区ディレクター)

実施委員長： 高橋竜一(早稲田大学)

実施委員： 鷲崎弘宜，深澤良彰，後藤滋樹，村岡洋一，戸川望，中島達夫，前原文明，山名早人
(以上早稲田大学)

審判長： 山口文彦(東京理科大学)

審判： 石畑清(明治大学)，上田和紀(早稲田大学)，鴨浩靖(奈良女子大学)，鎌田十三郎(神戸大学)，久野靖(筑波大学)，久保田光一(中央大学)，小宮常康(電気通信大学)，佐藤健吾(東京大学)，柴山悦哉(東京大学)，田中哲朗(東京大学)，西村進(京都大学)，新田善久(津田塾大学)，増原英彦(東京大学)，脇田建(東京工業大学)

審判アドバイザー： 近山隆(東京大学)

組織委員： 阿草清滋(名古屋大学)，今井浩(東京大学)，上嶋明(岡山理科大学)，大西淳(立命館大学)，岡野浩三(大阪大学)，程京徳(埼玉大学)，富永浩之(香川大学)，外山芳人(東北大学)，西村俊和(立命館大学)，馬場敬信(宇都宮大学)，藤田聡(広島大学)，松永賢次(専修大学)，松永俊雄(東京工科大学)，南弘征(北海道大学)，峯恒憲(九州大学)，美馬義亮(公立はこだて未来大学)，村上昌己(岡山大学)，山田宏之(愛媛大学)

事務局：

ACM/ICPC2009 東京大会運営事務局(早稲田大学)

E-mail: director-icpc2009@fuka.info.waseda.ac.jp

ACM日本支部事務局

〒107-0062 東京都港区南青山5-12-27ワイズビル405 Tel.03-5766-3643 Fax.03-5766-3642

E-mail: office@acm-japan.org URL: <http://www.acm-japan.org>

大会ホームページ: <http://www.waseda.jp/assoc-icpc2009/jp/>

出場校： 27校35チーム(括弧内はチーム数)

会津大学(2)，大阪大学(1)，大阪電気通信大学(1)，九州大学(1)，京都大学(2)，久留米工業高等専門学校(1)，鈴鹿工業高等専門学校(1)，筑波大学(1)，津田塾大学(1)，津山工業高等専門学校(1)，電気通信大学(1)，東京大学(4)，東京工業大学(2)，東北大学(2)，豊橋技術科学大学(1)，広島大学(1)，明治大学(1)，山梨大学(1)，立命館大学(1)，早稲田大学(2)，Chiao Tung University<国立交通大学>(1)-台湾，City University of Hong Kong<香港城市大学>(1)-中国，National Taiwan University<国立台湾大学>(1)-台湾，Peking University<北京大学>(1)-中国，Shanghai University<上海大学>(1)-中国，Shanghai Jiaotong University<上海交通大学>(1)-中国，Yonsei University<延世大学>(1)-韓国

基本ルール：

・学生3名1チーム

・コンテスト中の公用語は英語

- ・プログラミング言語はC++, C, Javaの中から選択
- ・マシンはチームに1台用意され, 資料の持ち込みは自由(ただしマシン読み取り可能なものは除く)
- ・設問に対し, 正しく動くプログラムを作成した数(正解数)の多さを競う
- ・同数の場合は, 提出までの所要時間の短さで判定される
- ・誤答はペナルティとして時間がプラスされる

(3) 東京大会実施内容

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟102 (開会式・オリエンテーション, トライアルコース, Javaチャレンジ, コンテスト)
 同センター 国際交流棟 レセプションホール (歓迎会)
 同センター センター棟 107 (コーチワークショップ)
 早稲田大学西早稲田キャンパス 7号館201教室 (問題解説, Java Challenge対戦, 表彰式)
 同キャンパス 63号館1階 カフェテリア (懇親会)
 国立オリンピック記念青少年総合センター 宿泊棟 (選手・コーチ・関係者宿泊)

期間: 11月7日(金)~11月9日(月)

内容: 11月7日(第1日目): 受付, 開会式, トライアルコース, Javaチャレンジ, 歓迎会・夕食
 11月8日(第2日目): コンテスト, コーチワークショップ, 問題解説, Javaチャレンジ対戦, 表彰式・閉会式, 懇親会
 11月9日(第3日目): エクスカーション(車窓見学および企業見学)

(4) 競技結果: (1大学1順位)

- 1位 東京大学(HITORI#) 9問正解
- 2位 Shanghai Jiaotong University(Rhodea) 9問正解
- 3位 National Taiwan University(Dont block me) 8問正解

(5) 世界大会への派遣および結果

1位東京大学, 5位京都大学が2010年2月1日~6日にハルビン(中国)で開催された世界大会に出場した。結果は, 東京大学 が11問中5問正解で14位タイ, 京都大学も5問正解で14位タイであった。本大会出場(2位)の上海交通大学 Rhodea が7問正解で優勝し, 本大会3位の国立台湾大学 Dont block me は6問正解で3位となった。

本件の収支会計については ICPC 東京大会として ACM 日本支部とは別途決算を行った。収入は ICPC 協賛企業からの協賛金および ACM 本部(アメリカ)からの開催補助金の総額 10,259,175 円, 支出は総額 8,335,953 円となった。

2. 会議への招聘

目的: GRACE International Symposium on Advanced Software Engineering 2010 への講師招聘

招聘期間: 2010年3月15~17日

対象者: Joshua Kerievsky (Industrial Logic, Inc. アメリカ)

3. 会議への派遣

目的: ACM/ICPC 運営に関する会議への参加

派遣期間: 2010年2月1~6日

派遣先: Harbin Engineering University(ハルビン・中国)

対象者: 石畑清(明治大学, ACM/ICPC 委員)

石川冬樹(国立情報学研究所, 次回 ICPC 東京大会実行副委員長)

4. セミナー関連

ACM/ICPC 補助事業として, ICPC 東京大会予選上位チームおよび世界大会進出チームへの特別強化合宿セミナーを松崎公紀(高知工科大学), 福澤太(東京工業大学)らが中心となって開催した.

期間: 2009 年 9 月 18 ~ 21 日

場所: 国立オリンピック記念青少年センター(渋谷区代々木)

5. ACM/ICPC アジア地区予選東京大会開催準備

2010 年度 ACM/ICPC のアジア地区予選の1つとして, 国立情報学研究所がホスト機関となり, 東京大会の開催準備を始め, 選手募集ポスターおよび募集案内を作成し, 全国の大学の情報系学科長・高等専門学校長宛および関係各署 420 ヲ所に 2010 年 5 月 12 日に発送した.

(1) 登録: 2010 年 6 月 18 日締切り 登録数 67 校 287 チーム

(2) 国内予選

日時: 7 月 2 日(金) 16 時 30 分 ~ 19 時 30 分

インターネットおよび電子メールを利用して各チームの所属大学にて実施する.

問題は 7 題出題(英語での出題を主とし, 日本語を併記)

(3) 東京大会

場所: 学術総合センター(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2)

12 月 11 日(土): トライアルユース, Java チャレンジ, 歓迎会

12 月 12 日(日): コンテスト, コーチワークショップ, 表彰式

12 月 13 日(月): エクスカーション

(4) 委員

実行委員長: 本位田真一(国立情報学研究所)

実行副委員長: 石川冬樹, 鄭顕志(国立情報学研究所)

審判長: 田中哲朗(東京大学)

(5) 大会案内ホームページ

<http://icpc2010.honiden.nii.ac.jp/>

6. 会議の共催および協賛の承認

(1) 以下の会議の共催について承認した.

会議名: AsianPLoP 2010

開催日: 2010 年 3 月 16-17 日

場所: 学術総合センター(東京都千代田区)

共催: 国立情報学研究所 GRACE センター, 情報処理学会ソフトウェア工学研究会 PWG

会議委員長: 羽生田栄一(豆蔵)

(2) 以下の会議への協賛を承認した.

女性研究者支援モデル育成事業・第 2 回私立大学合同シンポジウム

「男女共同参画の輪をさらに広げよう」

開催日: 2009年12月4日

場所: 津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス津田ホール(東京都新宿区)

主催: 津田塾大学

先端ソフトウェア工学に関する GRACE 国際シンポジウム 2010

開催日: 2010年3月15-17日

場所: 学術総合センター(東京都千代田区)

主催: 国立情報学研究所 GRACE センター

シンポジウム委員長: 本位田真一(国立情報学研究所)

第17回ソフトウェア工学の基礎ワークショップ(FOSE2010) in 越後湯沢

開催日: 2010年11月18-20日

場所: 越後のお宿 いなもと(新潟県南魚沼郡)

主催: 日本ソフトウェア科学会「ソフトウェア工学の基礎研究会」

プログラム委員長: 高田真吾・福田浩章(慶應義塾大学)

7. 共催および協賛会議の開催

(1) 以下の共催会議が開催された。

会議名: AsianPLoP 2010

開催日: 2010年3月16-17日

場所: 学術総合センター(東京都千代田区)

共催: 国立情報学研究所 GRACE センター, 情報処理学会ソフトウェア工学研究会 PWG

会議委員長: 羽生田栄一(豆蔵)

(2) 以下の協賛会議が開催された。

第2回津田塾大学女性研究者支援センターシンポジウム

「ICT分野で国際的に活躍できる女性人材の育成を考える」

開催日: 2009年10月17日

場所: 津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス津田ホール(東京都新宿区)

主催: 津田塾大学

第16回ソフトウェア工学の基礎ワークショップ(FOSE2009) in 箱根

開催日: 2009年11月19-21日

場所: ホテルおかだ(神奈川県箱根湯本)

主催: 日本ソフトウェア科学会「ソフトウェア工学の基礎研究会」

プログラム委員長: 中島震(国立情報学研究所), 鷲崎弘宜(早稲田大学)

女性研究者支援モデル育成事業・第2回私立大学合同シンポジウム

「男女共同参画の輪をさらに広げよう」

開催日: 2009年12月4日

場所: 津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス津田ホール(東京都新宿区)

主催: 津田塾大学

先端ソフトウェア工学に関する GRACE 国際シンポジウム 2010

開催日: 2010年3月15-17日

場所: 学術総合センター(東京都千代田区)

主催： 国立情報学研究所 GRACE センター
 シンポジウム委員長： 本位田真一(国立情報学研究所)

8. 賛助会員企業

(株)ビーコンインフォメーションテクノロジー 東芝ソリューション(株) 日本アイ・ピー・エム(株)
 日本電気(株) (株)日立製作所 富士通(株) (株)リコー キヤノン(株) (財)電力中央研究所

9. 2009-2010 年度収支決算

2009年7月1日～2010年6月30日

単位： 円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
収入の部				
1. 賛助会費収入	1,800,000	1,500,000	300,000	賛助会員企業 9 社
収入合計(A)	1,800,000	1,500,000	300,000	
前期繰越収支差額	3,229,202	3,229,202	0	
収入合計(B)	5,029,202	4,729,202	300,000	
支出の部				
1. 年次総会・講演会開催	390,000	0	390,000	
2. 講演会の開催	250,000	251,680	1,680	
(1) 招聘費	250,000	250,000	0	外国人研究者招聘
(2) 雑費	0	1,680	1,680	
3. 学会誌翻訳出版	360,000	0	360,000	
4. プログラミングコンテスト補助	845,000	522,196	322,804	
(1) 委員派遣費	300,000	203,570	96,430	RCD会議に派遣
(2) セミナー開催費	350,000	134,850	215,150	選手強化合宿費用
(3) 資料収集費	75,000	75,600	600	書籍の購入
(4) 会議費	100,000	80,590	19,410	ICPC 関係会議
(5) 雑費	20,000	27,586	7,586	
5. 管理費	500,000	124,170	375,830	
(1) 旅費交通費	50,000	30,200	19,800	委員会旅費他
(2) 通信運搬費	350,000	66,708	283,292	Web 維持料、通信費
(3) 会議費	70,000	24,690	45,310	会議室賃借料
(4) 雑費	30,000	2,572	27,428	
支出合計(C)	2,345,000	896,366	1,446,954	
当期収支差額(A)-(C)	545,000	603,634	1,146,954	
次期繰越収支差額(B)-(C)	2,684,202	3,832,836	1,146,954	

以上